

TRACE32 embOS 認識機能が RH850 にも対応

マイクロプロセッサ開発ツールのリーディングメーカーである Lauterbach は、SEGGER Microcontroller 社の embOS Real-time Operating System (RTOS) のカーネル認識機能をルネサスエレクトロニクスの RH850 マイクロプロセッサファミリ(MPU)にまで拡張いたしました。Lauterbach が提供する業界をリードするデバッグツールである TRACE32 では、既に ARM、PowerPC、RX、SH、NIOS-II ファミリの embOS をサポートしており、この多くの実績を重ねた技術が、RH850 ファミリまで拡張されました。

TRACE32 の embOS 認識プラグインにより、開発者はタスクリスト、メールボックス、タイマ、セマフォなどの RTOS リソースとオブジェクトを視覚化できます。さらに、TRACE32 の使い慣れた環境の中から、割り込みルーチン、ドライバ、およびアプリケーションコードを自由に調べることができます。本機能が有効化されると、タスク認識ブレークポイントなどの追加機能が使用可能になります。

RH850 ファミリのすべての MPU は、TRACE32 デバッガでコード実行中にアクセスできる専用カウンタレジスタを提供します。これは、マークされたコードブロックまたは embOS システムのさまざまなタスクのランタイムの最小、最大および平均を表示するように構成できます。

ターゲットがオフチップトレース機能を提供する場合、TRACE32 はプロセッササイクルを記録し、タスクスイッチのデータを収集するように構成できます。この情報を使用して、タスクスイッチを含むプログラム履歴の詳細な分析を表示できます。

embOS に対応した TRACE32 の OS 認識機能を利用するにあたり、RTOS 自体に追加のターゲット設定やフックやパッチを必要としません。TRACE32 の考え方は、アプリケーションがデバッグ環境で最終製品とまったく同じように動作し、この環境でのみ 100% の確実なテストが可能です。

「強力な TRACE32 デバッグツールは現在市場で最高クラスの RTOS である RH850 用の embOS によって補完されています。これにより、ソフトウェアエンジニアは、embOS が最小

のレイテンシーと非常に小さいフットプリントを持つため、より効率的なアプリケーションをコーディングを行えます。これは、Lauterbach とのパートナーシップの新たなマイルストーンです」と、SEGGER の embOS プロダクトマネージャである Til Stork 氏は述べています。

「embOS との継続的なパートナーシップにより、RH850 デバイスのユーザーは、クラスの主要ツールや RTOS をよりスマートで効率的な組み込みシステムに最大限に活用することができます。これは、開発者が自分のプロジェクトに最適なツールと RTOS の組み合わせを選択できるようにすることで、組み込み業界にとっては非常に有益です」と、Lauterbach の UK 支社 GM の Barry Lock 氏は述べています。

LAUTERBACH, TRACE32 μ Trace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.